

12. オゾンホール深度と南半球成層圏最終昇温の関係：山口達也\*, 廣岡俊彦 (九州大学理学部)
13. プラネタリー波の碎波とそれに伴う内部重力波発生：四ツ谷直紀\*, 宮原三郎 (九州大学理学部)
14. 山口県における豪雨災害危険地域の評価と区分に関する研究：張 継権\*, 早川誠而(山口大学農学部)
15. 山口県における豪雨による被害度の評価及び豪雨災害発生年の予測に関する研究：張 継権\*, 早川誠而 (山口大学農学部)
16. 大雨の主成分分析：宮田 浩(鹿児島地方気象台)
17. 鹿児島における降雨の特徴：林理三雄, 安田 茂, 牧瀬哲夫\* (鹿児島大学工学部)
18. 島原半島の降雨特性(台風接近時の東風の場合)：矢野兼三, 白崎初未\* (長崎海洋気象台)
19. 福岡市とその周辺地域における降雨特性について：脇水健次\*, 鈴木義則, 松井桂子(九州大学農学部), 西山浩司, 神野健二, 松田篤志(九州大学工学部)

#### 特別講演

「雲物理から見た九州の豪雨機構」

高橋 劭 (九州大学理学部)

## 生物・地球環境試料の超長期保存ネットワークに関する国際ワークショップ論文募集

**開催日**：1997年11月3日～6日

**開催地**：

大阪府豊中市, 千里ライフサイエンスセンター

**後 援**：

大阪府, 日本万国博覧会記念協会 (以上決定),  
(社) 日本気象学会, (他約20学協会予定)

**目 的**：

西暦2001年を期して, 南極の高地ドーム Fuji 上に20世紀の生物・地球環境を代表する試料を自然界冷凍保存し, 超長期にわたる遺伝子レベルでの地球環境影響評価に役立てる。

**会議用語**：英語

**アブストラクト**：

150-250ワード(締切1997年6月15日ですが関心のございます方は, 是非お問い合わせください。)

**関連分野**：

生物, 環境科学 (とくに, 生物, 環境試料保存, 古環境の再現, 生物による環境モニタリング等), 生命, 環境, 極地科学, 等

**申込先**：組織委員長 柴田俊一

**問い合わせ**：実行委員長 江藤剛治

〒577 東大阪市小若江3-4-1 近畿大学内

Tel : 06-721-2332

Fax : 06-730-1320

(文部省科研費重点領域研究 (A) 申請計画研究参加者募集：平成6, 7年度総合(A), 平成8年度基盤(B)に引き続き, 重点領域 (A) に応募予定 (申請期限：平成9年9月)。研究者と課題募集。問い合わせ先は上記に同じ。)